

植物生態研究者が学んだ植物の繁殖特性

講師：名波 哲氏

(大阪公立大学附属植物園 園長)



名波氏は農学部出身で、野生植物の集団維持のしくみを研究しています。着眼点は植物の雌雄性です。植物の多くは1つの体におしべとめしべの両方を備えていますが、雄株と雌株に分かれている雌雄異株の植物もあります。動かない植物が雄株と雌株に分かれると、さまざまな不利が生じます。雌雄異株植物は、どのように不利を克服しているのでしょうか？講演会とフィールドワークを通じて、性という観点から植物を観察しましょう。

概要

開催日時：令和5年11月11日（土）13：00～16：00（雨天決行）

開催場所：大阪公立大学附属植物園 研究棟講義室
(大阪府交野市私市2000)

[大阪公立大学附属植物園 \(omu.ac.jp\)](https://omu.ac.jp)

対象：樹木医 20名程度

参加費：無料

樹木医CPD：2.5単位申請予定

申し込み方法

セミナー集客ポータルサイト「こくちーず」（下記）よりお申込みください。

<https://kokc.jp/e/82cb456946118333d03ea53848ebb6ec/>

プログラム

13：00 開会
13：05～14：05 講演会
14：25～15：55 フィールドワーク
16：00 閉会

トピック

講演会：植物の多様で複雑な性。雌雄異株植物の集団維持のしくみ。

フィールドワーク：さまざまな植物の果実や結実状況、繁殖生態に注目した植物種の個性、11タイプの樹林型など、植物園内の植物を雌雄性の観点から観察します。

※植物園は9：30より開園しております。受付にて研修会参加の旨と、お名前をお伝え下さい

※お車でのお越しの場合、駐車場代（一日/500円）が必要です。（繁忙期の為、駐車場が満車の場合があります。）

主催

（一社）日本樹木医会大阪府支部

共催

NPOおおさか緑と樹木の診断協会